

第12回衛生工学シンポジウムプログラム

(会場：クラーク会館 札幌市北区北8条西8丁目)

(昨年度から場所が変更となっています。ご注意ください)

シンポジウム 参加費 5,000円 (講演論文集代を含む)
懇親会 参加費 5,000円 (予定)

11月4日(木)

12:30~13:00 受付 (講堂入口(地階))
13:00~13:05 開会
13:05~13:53 1. 大気・土壌環境
14:00~15:00 2. 水環境
15:10~15:58 3. 上下水道管理
16:10~16:40 パイプオルガン演奏
16:50~18:00 「国境を越える環境問題」(企画セッション1)
18:15~20:00 懇親会(会場：クラーク会館(予定)：例年と場所が異なります)

11月5日(金)

9:00~10:00 4. 水処理
10:10~11:10 5. 廃棄物処理とリサイクル
11:20~12:12 ハイブリッド発表(口頭発表(講堂))
12:15~13:00 ハイブリッド発表(ポスター発表(大集会室前広場))
14:00~15:10 「北海道における水環境保全・復元」(企画セッション2)
15:20~16:20 6. 建築・都市環境とエネルギー有効利用
16:20~16:30 閉会

<国境を越える環境問題(企画セッション1)>

司会 北海道大学大学院工学研究科 村尾直人

”廃棄物”の越境移動と国際的な”資源”リサイクルの課題

東京大学大学院工学系研究科博士課程 吉田綾氏

わが国西端から流入する大気汚染

電力中央研究所 大気科学部 速水洋氏

北極圏に届く化学物質

北海道大学大学院工学研究科 深沢達矢氏

沿岸域から外洋域への物質移動

北海道大学大学院地球環境科学研究科 乗木新一郎氏

<北海道における水環境保全・復元(企画セッション2)>

司会 北海道大学大学院工学研究科 木村克輝

豊平川流域の水循環と水環境－豊平川と茨戸川について－

北海道開発土木研究所 中津川 誠 氏

北海道における水環境改善について ～苫小牧川と春採川の取り組みについて

北海道建設部河川課 奥平恒望 氏

サクシュ琴似川再生事業について

札幌市建設局土木部河川課 菅原伸二 氏

北海道の湿原と保全対策－水質工学からのチャレンジ－

北海道大学大学院工学研究科 橋 治国 氏

<一般セッション>

○は発表者、Pはハイブリッド発表

1. 大気・土壌環境

1-1 第42次日本南極地域観測隊におけるエアロゾル観測

○小林 拓 (山梨大学), 原圭一郎, 矢吹正教, 塩原匡貴, 山内 恭 (国立極地研究所)
長田和雄 (名古屋大学), 太田幸雄 (北海道大学)

1-2 P R T Rデータの地域統計学的分析

○片谷教孝、福山 明 (山梨大学)

1-3 黄砂の光学的特性

○吉村英俊, 小林 拓 (山梨大学), 荒生公雄 (長崎大学), 村山利幸 (東京海洋大学)
五百旗頭健吾, 古賀隆治 (岡山大学), 塩原匡貴 (国立極地研究所)

1-4 海色リモートセンシングのためのタイ湾船上観測

○藤田克也, 小林 拓 (山梨大学), 虎谷充浩, 福島 甫 (東海大学)
松村皐月, Absornsuda Siripong (チュラロンコン大学)

P1-5 中の峰平湿原における土壌中金属成分の鉛直成分

○平島邦人、深澤達矢、橋 治国 (北海道大学)、柴田英昭、野村 睦
高木健太郎 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

P1-6 中の峰平湿原における有機塩素系農薬類に関する研究

○塩谷 光広、深澤 達矢、橋 治国 (北海道大学)、柴田 英昭、野村 睦
高木 健太郎 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター)

2. 水環境

2-1 農耕地からのリンの流出

○山田俊郎、井上隆信 (豊橋技術科学大学)

2-2 河川水中懸濁物質と流域土壌の連続抽出法による分画とその特性

○井上隆信 (豊橋技術科学大学)、中野亮平、松井佳彦、松下 拓 (岐阜大学)
山田俊郎 (豊橋技術科学大学)

2-3 豊平川におけるヒ素流出負荷量の定量評価

辰巳健一、橋 治国 (北海道大学)

2-4 浄水汚泥を用いたエストロゲン様活性および活性阻害作用に関する研究

○栗原沙織、竹田 誠、大野浩一、亀井 翼、眞柄泰基 (北海道大学)
河合富貴子 (富士電機アドバンステクノロジー)

2-5 蛍光発光時間測定式溶存酸素計のフィールド試験結果について

○寺沢 啓 (セントラル科学)

P2-6 THE RELATIONSHIP OF WATER QUALITY RESTORATION AND PLANTS
RE-ESTABLISHMENT IN BOG MIRE CONSERVATION

Rofiq Iqbal, Saori Akimoto, Koichi Tokutake, Masami Muramoto
Harukuni Tachibana (Hokkaido University)

P2-7 北海道における積雪中成分の分布

○飛澤拓也、深澤達矢、橘 治国（北海道大学）大塚英幸
野口 泉（北海道環境科学研究センター）

P2-8 森林地域における河川及び土壌水中の金属成分に関する研究

○濱谷基弘、深澤達矢、橘 治国（北海道大学工学研究科）、柴田英昭、野村 睦
高木健太郎（北大北方圏フィールド科学センター）

3. 上下水道管理

3-1 アジアの水道民営化状況

○熊谷和哉（環境省水環境部）

3-2 下水処理施設におけるコンクリート腐食対策への取り組みについて

○須賀雄一、稲毛克俊（日本下水道事業団）

3-3 汚濁負荷削減を考慮した道路路面排水含有成分の特性評価

○川原全人、石川宗孝、笠原伸介（大阪工業大学）

3-4 活性汚泥微生物由来有機物の毒性評価に関する研究

○成田裕樹、船水尚行、高桑哲男（北海道大学）
国本 学（北里大学）

P3-5 オガクズを用いたし尿好気処理過程におけるアンモニアの揮発特性に関する基本的研究

○堀田真也（北海道大学）、寺沢 実（北海道大学農学研究科）
船水尚行（北海道大学）

P3-6 バイオトイレコンポストのバイオアッセイの試み

○柿本貴志、今井陽介、船水尚行（北海道大学）、国本 学（元北里大学）

4. 水処理

P4-1 水質汚濁物質としてのN-ニトロソジメチルアミンの活性炭・ナノろ過膜による処理性について

○南 岳宏、大野浩一、亀井 翼、眞柄泰基（北海道大学）

4-2 鉄系凝集剤 PSI を用いた有害金属類の凝集効果と E260 による迅速な処理性評価

○草野真一、大野浩一、亀井翼（北海道大学）、眞柄泰基（北海道大学）

4-3 ナノろ過膜のファウリングにおけるカルシウムとその対イオンの影響

○小口祥史、大谷 務、大野浩一、亀井 翼、眞柄泰基（北海道大学）

4-4 水中攪拌機とメンブレン式散気装置の組合せによる OD 法の実負荷運転性能について

○山本敬之、加藤 薫、加藤 孝（三機工業）、粕淵泰志（鶴見製作所）

4-5 ポリシリカ鉄凝集剤（PSI）を用いた実施設における浄水処理

○東 義洋、亀田修平、江原康浩、長谷川孝雄（水道機工）

4-6 包括固定化担体を用いた下水中環境ホルモン除去技術

○青山光太郎、井坂和一、中村裕紀、角野立夫（日立プラント建設）

P4-7 流動床式脱窒槽を適用した下水の窒素除去システム

○矢澤賢一郎、戸松裕貴、原 正（三機工業）

5. 廃棄物処理とリサイクル

5-1 バイオアッセイバッテリーを用いた最終処分場浸出水の化学物質リスクマネジメント

○山田正人、井上雄三（国立環境研究所）、毛利紫乃（岡山大学）

5-2 都市ごみ埋立地浸出水中のプラスチック由来の内分泌かく乱物質の処理特性

ー曝気、凝集沈殿処理ー

○朝倉 宏（国立環境研究所）、松藤敏彦、田中信壽（北海道大学）

5-3 二酸化塩素を用いた汚泥減量化技術の検討

○正木広志、安部直樹、麻生伸二（日立プラント建設）

5-4 ダウンドラフト型ガス化炉を用いた木質バイオマスのガス化

○山崎 高、高津宏和、山形 定、村尾直人、太田幸雄（北海道大学）
椎谷 悟、大場龍夫（森のエネルギー研究所）

5-5 し尿と浄化槽汚泥からのアパタイト法によるリン回収システム

梁瀬克介、○伊藤俊彦（住友重機械工業）

- P5-6 都市ごみ資源化施設における重金属フローの推定および溶出性の評価
○鄭 昌煥、松藤敏彦、田中信壽（北海道大学）
- P5-7 都市ごみ炭化物中塩素の水溶性に関する研究
○黄 仁姫、松藤敏彦、田中信壽（北海道大学）

6. 建築・都市環境とエネルギー有効利用

- 6-1 実証実験に基づく自然エネルギー・燃料電池活用型住宅用複合システムの開発と総合評価
—分散型システムのためのネットワーク・設備共有化の効果—
○辻 将行、濱田靖弘、中村真人、窪田英樹、落藤 澄（北海道大学）
後藤隆一郎、村瀬光則（北海道ガス）
- P6-2 実証実験に基づく自然エネルギー・燃料電池活用型住宅用複合システムの開発と総合評価
—水素貯蔵システムの導入可能性評価—
○塩見和哉、濱田靖弘、中村真人、窪田英樹、落藤 澄（北海道大学）
後藤隆一郎、村瀬光則（北海道ガス）
- P6-3 移動式高密度雪氷庫システムに関する研究—貯雪特性と冷房運転の実測と評価—
○長沼隆之、濱田靖弘、中村真人、窪田英樹、伊藤潤一（北海道大学）
工藤一博（工藤建設）、橋本良明（今組）
- P6-4 建築・都市の環境工学的診断への研究—事務所事例の診断結果—
○鶴田晶子、濱田靖弘、中村真人、窪田英樹（北海道大学）
那須豊治、木村浩司（岩田建設）
- P6-5 都市空間における自然放射性物質の挙動特性と影響評価に関する検討
○伊藤智徳、横山真太郎、旗谷広司、長野克則、倉前正志、嶋倉一實（北海道大学）
卓維海（放射線医学総合研究所）
- 6-6 東アジア地域の都市化が子どもの健康に及ぼす影響に関する総合的研究（第1報）
前川竜一、○横山真太郎（北海道大学）、大塚柳太郎、山内太郎、夏原和美（東京大学）
市丸直人、石井 勝（福岡教育大学）
- 6-7 微酸性次亜塩素酸水の衛生工学分野における応用展開
○旗谷広司、横山真太郎、嶋倉一實（北海道大学）、三田村隆、福澤信有
菅野幸雄（エコロフロンティア）、土井豊彦、浜谷希人（森永乳業）
- 6-8 冬季沿岸防風雪施設の環境人間工学的評価
山本憲昭、横山真太郎、嶋倉一實（北海道大学）
渥美洋一、木岡信治、石澤健志（北海道開発土木研究所）
- 6-9 皮膚温分布・顕熱授受量分布による快・不快感の表現法の提案
○佐古井智紀、都築和代（産業技術総合研究所）
加藤信介、大岡龍三、宋 斗三、朱 晟偉（東京大学）
- P6-10 人体熱モデルによる皮膚温分布・顕熱授受量分布の予測に関する研究
○佐古井智紀、都築和代（産業技術総合研究所）
加藤信介、大岡龍三、宋 斗三、朱 晟偉（東京大学）
- P6-11 室内空気中のグルタルアルデヒド分析方法の検討と実測
○安藤明子、戸田浩之、佐古かおり、有川悦朗（三機工業）

注：

1. ハイブリッド発表の口頭発表は、講堂にてセッションの番号順に行います（一人3分厳守）。
また、ポスター発表の会場は、大集会室前広場です。
2. 環境工学関連企業の取組紹介（パネル）展示は、ポスター発表（大集会室前広場）にて行います。